

令和元年度第2回稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日 時】 令和元年8月28日 水曜日 午後1時から午後2時40分

【場 所】 稲沢市勤労福祉会館 第2会議室

【出席者】 稲沢市男女共同参画審議会委員（敬称略）

江草 普二 名古屋文理大学准教授
真下あさみ 愛知文教女子短期大学准教授
後藤 恵美 稲沢商工会議所女性会（会長）
牛嶋みゆき 稲沢連合婦人会（副会長）
佐久間春生 稲沢市ボランティア・市民活動連絡会（会長）
吉次 栄子 いなざわウィルネット（副会長）

大谷 淳子 公募委員

【欠席者】 犬飼 祐香 公募委員

中島 雄太 公募委員

松崎 伯 公募委員

【稲沢市】 篠田 智徳 市長公室長

大口 伸 地域協働課長

鈴木 俊吾 地域協働課 主幹

前田 赳史 地域協働課 主査

【会議概要】

1 あいさつ

[市長公室長あいさつ]

- ・出席のお礼
- ・本日の議題内容について、慎重審議を依頼する。

[会長あいさつ]

・働き方改革などが進められている中で、現実としてはまだまだ家庭の事情が認められない職場が多いのではと思いますので、今後はそういった視点からも男女共同参画について考えていきたい。

2 議題

議題（1）平成30年度実施状況及び重点実施状況調査報告書について

[事務局]

平成30年度実施状況及び重点実施状況調査報告書について、以下の内容について説明。

- ・平成30年度実施状況調査報告に対するコメントシートについて、各委員の方々から提出いただいたコメントを取りまとめた資料
- ・平成30年度重点実施状況調査報告に対するコメントシート、各委員の方々から提出いただいたコメントを取りまとめた資料

(主な質疑・意見)

[会長]

- ・取りまとめられた資料は今後どのように反映されるのか。

[事務局]

・今後の事務としましては、本日御協議いただきました御意見を本審議会の意見として取りまとめ、実施状況調査報告に対するコメントにつきましては、次回の審議会で最終報告

書として御確認いただき、担当課へ提言していくと共に、ホームページにも掲載させていただきます。

また、重点実施状況調査報告に対するコメントにつきましては、担当課へ提言させていただきますのでよろしくお願いいたします。

議題（２）次期男女共同参画プラン策定について

[事務局]

次期男女共同参画プラン策定について、以下の内容について説明。

- ・次期男女共同参画プラン策定にあたって（案）
- ・時期プラン体系骨子（案）

（主な質疑・意見）

[委員]

- ・稲沢市ステージアッププランの中での男女共同参画プランの位置付けは。

[事務局]

・ステージアッププランでは、いろいろな取り組みがある中の一つとして、男女共同参画・多文化共生の項目があり、誰もが活躍できる社会環境づくりとして、市民活動団体などと連携し、男女共同参画に関する各種啓発を実施するとともに、ワークライフバランスや各種ハラスメント、DV、性的少数者への理解など、多様な課題への対応を図ることとなっております。この目標を達成するため、男女共同参画プランⅡに引き続き、次期プランを策定するものです。

[委員]

- ・配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶として、稲沢市DV対策に対する現状は把握されているか。

[事務局]

・DVに対しましては、周知・啓発については当課で担当しており、相談先等の情報発信は実施しておりますが、実際に配偶者から暴力を受けている方などが市に相談に行かれる場合は、その相談を受けた担当課が対応しておりますので、当課においては現状を把握しておりません。

[委員]

- ・実際の被害者の方はどこに連絡すればよいのか。

[事務局]

・男女共同参画プランⅡの41ページに記載してあるとおり、内容によって担当課が受けるほか、警察や各相談窓口で対応しております。

どこに相談すればよいのか、こういった機関があるのかについての周知は、男女共同参画の取り組みとして、DVの根絶に対し重要な課題と考えております。県の相談機関等の周知が徹底されていないのであれば、今後どのように周知するかは重要な事案となっております。

[委員]

・「夜間・休日・病後児・特定保育」についても実施状況を調査すべきではないか。女性が夜間や休日にお勤めになられる方が多いので、公立で休日・夜間保育を実施している施設があるのか、企業が出資しているところがあるのか分からないのだが。私立保育園も増えてきているので、連携して進めたらどうか。

[事務局]

- ・「夜間・休日・病後児・特定保育」についても、「延長・乳児・障害児・一時保育」と同

様に「保育サービス等の充実」の取り組みとして実施していきたいと考えております。

[委員]

・保育料の無償化等の施策があるが、稲沢市として子育ての施策の重要度は。

[事務局]

・市長は、「子育て・教育は稲沢で」を掲げており、保育料の無償化は勿論ですが、これ以外にも副食代無償化の対象者拡充等の独自施策を実施しており、子育ての施策の重要度は高いと考えています。

[委員]

・あらゆる分野での男女共同参画の推進において、職場や労働環境に関する項目が多いが、実際に、保育サービスや育児施策では、仕事を持っている方にとっては重要だが、女性が社会に参画することには、ボランティア活動や自己啓発したい、働いていない女性にも必要ではないか。働く女性に対しては、企業が保育施設を設置することを義務化するなどの対応をとることとし、女性が自分で時間の使い方を決められることにより、基本理念である「男女にかかわらず個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現」となるのではないか。

[委員]

・保育施設の整備は必要であるが、現実にはなかなか整備が進まないため、企業が保育施設を設置する場合には何らかの補助があると良いのではないか。

[委員]

・保育施策は必要であるが、まずは現在実施しているファミリーサポート事業等を活用すべきで、更に保育施策を拡充することは、保育士の不足から稲沢市としても大変難しいと思います。

[会長]

・無理な問題だとすぐに判断せず、どこかに原因があるので、審議会を通じて少しでも解決に向けた施策があるのであれば、提言していきたいと考えております。

議題（３）男女共同参画市民アンケート調査（案）について

[事務局]

男女共同参画市民アンケート調査（案）について、以下の内容について説明。

- ・調査目的、調査方法、調査対象、調査期間、調査項目
- ・男女共同参画意識に関するアンケート（案）

(主な質疑・意見)

[委員]

・アンケートの設問は前回と同内容か。

[事務局]

・先程次期男女共同参画プラン策定についてご説明させていただきましたが、プランの内容を刷新する予定でありますので、この内容に合わせたアンケート内容となっております。前回の市民アンケートや国、県が実施しておりますアンケートを参考として調整しております。

[委員]

- ・いくつかの設問の中で、女性が強調されている表現が多く感じられるので、もう少し設問の表現を工夫されると良い。
- ・設問「あなたの性別」で、回答項目に「答えたくない、わからない」となっているが、

答えたくないとわからないは分けるべきではないか。

- ・設問「あなたの年齢」で、回答項目に「80歳代以上」を追加するべきではないか。

[委員]

- ・設問「あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。」で「家庭生活」についての設問があるが、家庭生活とは何かわかりづらいのではないか。
- ・設問「あなたは、結婚していますか」で回答項目に「結婚していたが死別・離婚した」とあるが、これを回答させて何かの統計に必要となるのであれば回答項目に入れるべきと考えるが、必要がないのであれば削除すべきではないか。

[委員]

・答えはいくつでもの設問が多いが、このアンケートを実施して何を知りたいのかははっきりすべきである。回答の中には、ほとんどのものが当てはまるものがある。ある程度プライオリティがわかる回答を期待した方がよい。回答数を決めた方がよいのではないか。

[委員]

・「その他の具体的に」の欄は強調された方がよいと思います。また、記載欄を多めにとっていたら良い。

[委員]

- ・どれぐらいの回収率を見込んでいるか。

[事務局]

・前回の回収率が53%程度でしたので、今回は50%程度回収できれば、全市民の約1%となるので50%は回収したいと考えております。

[委員]

- ・アンケートは紙ベースだけか。

[事務局]

・WEB等の回収体制が整っておりませんので、紙ベースのみとなります。

[委員]

- ・設問の数が多いので、回答するのに時間がかかるため、5割の回収率は難しいのでは。

[事務局]

・前回の設問数は多かったのですが、前回の設問数からはかなりの設問数を減らさせていただいております。

[会長]

・貴重なご意見をいただきありがとうございました。事務局が取りまとめるには難しいとは思いますが、コンサルティング会社と十分協議していただき、回答する方の視点で作成していただきたい。

3 その他

[事務局]

・次回審議会の日程については、11月14日（木）午後1時30分から開催させていただく予定とします。

午後2時40分閉会

以下余白